

健康通信

2025年10月20日
NO.46

祝 阪大 坂口志文特任教授
ノーベル生理学・医学賞を受賞

《感染症の動向》

- 近くの小学校で**インフルエンザA**の流行があって、低学年の1クラスが**学級閉鎖**になりました。全国的にも散発的な小流行がみられています。
- 新型コロナウイルス『**ニンバス**』の**感染拡大は終息傾向**になっているかもしれません。

《带状疱疹ワクチン》

- **生ワクチン**または、**組み換えワクチン**(2回接種)の予防接種を行っています。どちらを接種したら良いか迷っている方は、ご相談下さい。
- 接種には**予約が必要**です。料金は**65歳以上の市民**に関しては下記の料金となります。
 - ・ 生ワクチン(1回接種) … 5,000円
 - ・ 組み換えワクチン(2回接種：1回分) … 18,200円

《インフルエンザワクチン・新型コロナワクチン》

- インフルエンザワクチン接種には予約の必要はなく、午前中は11時まで、午後は17時までの診療時間内で行っております。
- 新型コロナワクチンは予約が必要です。
【料金】
 - ・ インフルエンザワクチン … 4,180円
 - ・ インフルエンザワクチン(公費一部負担有) … 1,600円
 - ・ 新型コロナワクチン … 16,610円
 - ・ 新型コロナワクチン(公費一部負担有) … 12,100円

《休診のお知らせ》

- 臨時休診…11/8(土) ■ 第五土曜日休診…1/31(土)
- 冬期休暇…12/28日(日) ～ 1/4日(日)

《免疫細胞の役割》

- 免疫細胞は自分の体に入ってきた**細菌やウイルス(抗原)**を攻撃して、無害にしてくれる一方、抗体を作って次の抗原の侵入に備えます。
- この免疫細胞の中でT細胞は、**マクロファージ**などで取り逃がした抗原を攻撃する役割を持っています。
- 坂口教授は**制御性T細胞**の研究で**ノーベル生理学・医学賞を受賞**されています。制御性T細胞は暴走した免疫機能を静める機能があります。これは、濾胞制御性T細胞が作り出す**ニューリチン**が体にとって有害な抗体を作っている免疫細胞の増殖だけを抑え込む能力があり、自分自身を攻撃するようになった抗体をコントロールさせます。
- T細胞の仲間の制御性T細胞の働きを亢進させると、自己免疫性疾患である**I型糖尿病、関節リウマチ等の治療**に効果が期待できます。制御性T細胞の働きを抑えた時に、がん細胞に対する免疫の攻撃力を高め、がんの免疫治療を強化することが出来ます。
- 膠原病やアレルギーの治療薬、がん免疫療法の創薬に繋がることが期待できます。

《憲吾Dr./循環器内科専門医の外来》

- 10月 … 18(土)、20(月)
- 11月 … 1(土)、15(土)、17(月)
- 12月 … 1(月)、13(土)、15(月)、27(土)
- 1月 … 17(土)、19(月)